

1. 科目名 (単位数)	児童生徒指導論 (進路指導を含む) (初等) (2 単位)	3. 科目番号	SJMP3215 EDTE2306 EDTE2106
2. 授業担当教員	黒田 智隆	5. 開講学期	秋期
4. 授業形態	講義、グループ討議、演習		
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	生徒指導は、一人一人の児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じ行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける。また、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むキャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織的体制に必要な知識や素養を身に付ける。		
8. 学習目標	1. ガイダンスとカウンセリング機能の充実による生徒指導・進路指導・キャリア教育の意義や、原理を理解する。 2. 学級・学年・学校における生徒指導の進め方や進路指導・キャリア教育の考え方や指導の在り方を理解する 3. 生徒指導上の課題の様態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解する。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	下記課題は、授業の連続性の中で位置づけた課題である。各自、参考文献より調査し、独自の考察を求める。 課題レポート①「生徒指導上の問題行動(いじめ・不登校・暴力行為)の中から一つを選び、その現状、原因、対応策について述べなさい。」2000字以上(第7回授業時提出) 課題レポート②「学校教育における生徒指導の意義と役割、これからの生徒指導のあり方について述べなさい。」2000字以上(第14回授業時提出)		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 文部科学省『生徒指導提要』教育図書。 【参考書】 文部科学省『小学校学習指導要領解説 総則編』東洋館出版社。 小学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 児童生徒指導の意義や役割が説明でき、諸問題への対応や改善策が考えられる。 ○評定の方法 演習課題 40%、学習記録・レスポンスシート 30%、受講態度 30%とする。		
12. 受講生へのメッセージ	学校教育において児童生徒指導は、学習指導とともに車の両輪にあたり、どちらも重要です。学習指導が円滑に行われるには、日ごろの生徒指導がその土台になることは言うまでもありません。教職に就くと日々児童生徒を理解し、指導の基盤となる指導理論の基礎を踏まえた対応が求められます。児童生徒理解なしに円滑な学級経営は望まれません。事例を基に実践力に結び付くグループ協議や演習を行います。ディスカッションやロールプレイを通して、教師を目指す皆さんには、教職の基本となる児童生徒観や指導観を深めてほしいと思います。教員採用試験の二次面接などでも、実際に想定した場面指導を問われる場合も増えています。知識や理解を蓄えると同時に実践力の基本の学習にもつながります。		
13. オフィスアワー	第 1 回授業時に周知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション ・学校生活を顧みて、生徒指導の先生や生徒指導の内容について思いだし、どのようなことを指導されたのか、自分たちにとって意義があったことについて話し合い、生徒指導の目指したものは何か、発表する。	事前学習	シラバスを読み、これまでの学校生活での、生徒指導の思い出を整理しておく。
		事後学習	生徒指導でどのような内容について指導されたのか、指導された内容は今の自分にどのように生かされているのか整理する。
第 2 回	生徒指導の意義と目的 ・これまで指導されたことや考えた目的と教科書に書かれている意義目的を比較し、グループで話し合い、児童生徒にどのような指導をすれば、効果的な生徒指導になるか発表する。	事前学習	生徒指導の目的について、教科書を読んでおく。
		事後学習	生徒指導提要に示されている生徒指導の意義とこれまでの指導の結果を比べ、生徒指導の課題についてまとめる。
第 3 回	日常の生徒指導と自己指導能力の育成 ・生きる力を育てる生徒指導と日頃の生活習慣、規範意識を育てる指導との関連について資料で調べ、どうすれば一貫性のある生徒指導になるかグループで考え合い、発表する。	事前学習	生徒指導提要「教育課程における生徒指導の位置づけ」を読んでおく。
		事後学習	教育課程は、教育の目的を実現するために計画された教育計画であることから、学習指導・生徒指導・特別活動など一貫した考えで進めることが大切であることをまとめる。
第 4 回	教育課程と生徒指導 ・各教科指導における資質・能力の育成と生徒指導との関連を考え、それぞれの教科の特色と生徒指導の関連を考え、教科横断的な資質能力の育成について話し合い、発表する。	事前学習	生徒指導提要「教育課程と生徒指導」を読んで、そのポイントを整理しておく。
		事後学習	各教科で育成すべき資質・能力と現代に求められる資質・能力を考察した資質能力について発表されたことを基に、自分なりにまとめる。
第 5 回	生徒指導と児童生徒理解 ・指導に欠かせない児童生徒の理解の仕方や考え方を学び、児童の発達を支える指導の充実について、グループで話し合い、要点を発表し合う。	事前学習	生徒指導提要「児童生徒の心理と児童生徒理解」を読んでポイントを整理する。
		事後学習	児童生徒の発達に関する知識を身に付けるとともに、児童生徒理解のポイントについて話し合った内容を整理する。

第6回	学級経営と生徒指導 ・児童生徒の学校生活を豊かなものにするために、学級担任が努力すべきこと、児童生徒に指導すべき事を資料で調べ、支持的風土をもつ学級にするために工夫することについて話し合い、発表する。	事前学習	学級経営と生徒指導について「学習指導要領解説総則編」第4節児童の発達の支援を読んで、学級経営と生徒指導について、整理しておく。
		事後学習	様々な生徒指導に関することは、学級担任の働きによるところが大きいことを整理し、支持的風土を作るために自分だったらどうするのかについてまとめる。
第7回	集団指導と個別指導の方法原理 ・生徒指導の目的により、指導の在り方には多様な方法があることを教科書から学び、どの場面で、どのような指導が必要かグループで考え、発表し合う。	事前学習	生徒指導提要の「集団指導と個別指導の方法原理」を読み、生徒指導の方法を理解しておく。
		事後学習	集団指導と個別指導の方法、指導の内容等の知識を整理し、TPOを踏まえた生徒指導をどのように行うか、まとめる。
第8回	集団指導と場面指導 ・学校でよくある事例を基にグループで事例を解決するための指導の在り方を、実際に教師の立場で児童生徒の発達段階を踏まえ、指導の実技を行う。相互に指導について評価し合う。	事前学習	学校生活の中で、学級担任から指導された事柄について思いだし、先生がどのような指導をしてくれたか、振り返る。
		事後学習	学校行事や当番活動、委員会活動等の場面を切り取り、5分間でどのように指導したらよいかグループで考え、全体指導したことを整理する。
第9回	生徒指導と教育相談 ・生徒指導による個別指導と教育相談との違いや共通性を相互に学び合い、個別指導の意義や教育相談における意義について学び合う。教育相談がしやすい体制をどう作るか考え、発表し合う。	事前学習	教育相談と生徒指導の違いについて、生徒指導提要を基に調べておく。
		事後学習	生徒指導と教育相談の違いを理解し、双方の意義についてまとめる。過去の経験から、相談しやすい態勢をどう作るか自分の考えをまとめる。
第10回	教育相談とその進め方 ・教育相談に大事な考え方やクライアントへの接し方など、様々な技法を調べ、どのように活用したらよいか、グループで話し合い、発表する。	事前学習	生徒指導提要「教育相談の進め方」を読み、教育相談の考え方や技法を知る。
		事後学習	教育相談の技法とカウンセリングマインドについて学んだことを整理しておく。
第11回	教育相談の実際 ・グループを組んで、カウンセラー、クライアント、記録者を決めて、教育相談の実習を行う。役割意識を持ちどのような相談ができたのか発表し、よりよい相談について話し合う。	事前学習	自己の大学生活を振り返って、悩みや問題、他に相談したいことを考えておく。
		事後学習	グループでの相談活動、全体での話し合いを踏まえて相談活動をどう進めるかまとめる。
第12回	生徒指導上の諸課題への対応 ・生徒指導上の諸課題を知り、その現状を文科省のデータで確認し、問題解決にはどのような対応が必要かグループで考え、発表し合う。	事前学習	生徒指導提要の「個別の課題を抱える児童生徒への指導」を読み、生徒指導上の課題にはどのようなものがあるのか調べておく。
		事後学習	いじめ、不登校。暴力行為、インターネット等の特徴を整理し、みんながまとめた対策について有効な方法について考える。
第13回	生徒指導に関する法制度 ・いじめや不登校を防いだり、校則などの決まりを作ったりするための国としての対策について法制度を調べ、それらを有効にするための教員としての役割を考え、話し合う。	事前学習	生徒指導に関わる法律について、教科書を基に調べておく。
		事後学習	青少年の健全育成に関する国の施策等に関心を持ち、その対応について整理まとめる。
第14回	キャリア教育の進め方 ガイダンスとしての指導 ・生きる力を育む教育を有効に進めるために、生徒指導同様キャリア教育が重要になっていることを、中教審答申を踏まえ、ガイダンスの機能を生かした全体指導や意義について話し合い、重要性をまとめる。	事前学習	生き方教育としての生徒指導に加え、キャリア教育の理念等について小学校キャリア教育の手引き(改訂版)(平成22年1月)等を読み関心を持つ。
		事後学習	生き方教育としての指導には、様々な内容が含まれるが、キャリア教育と職業教育の違いについて知るとともに、生きていくための汎用的な資質・能力について理解し、自己実現に向けた指導ができるようまとめる。
第15回	教育課程における生徒指導とキャリア教育 ・自己指導能力を育み自己実現を目指す生徒指導とよりよく生きるための資質能力を育むためのキャリア教育の共通性をとらえ、どのような指導が望ましいのか、話し合い発表する。 ・児童生徒指導論のまとめをする。	事前学習	児童生徒指導論で学んだ事柄を整理し、大切なことを振り返る。
		事後学習	自己指導能力を育成するために、どのように生徒指導を進めればよいか、自己の考え方についてレポートにまとめる。